

コロナ感染拡大抑止へ六項目緊急要望

— 党県議団 検査拡充・ワクチン接種推進を —



7月25日県にコロナ緊急要請(左)堀井部長(右)関徹県議

7月25日、日本共産党山形県議団(渡辺ゆり子県議、関徹県議)は、吉村美栄子知事あての「新型コロナウイルス感染拡大抑止に関する緊急要望」を行い堀井洋幸県健康福祉部長が要望書を受け取りました。

党県議団は、7月に入ってからコロナ感染症の陽性者が急増しており、このまま続けば、医療機関のひっ迫、福祉施設の人手不足、物資の不足などが懸念される。

検査体制の拡充など一刻も早い感染拡大抑止のため可能なあらゆる方策を尽くすべきと強調して、以下の6項目を要望しました。

- ▼ワクチン接種の強力な推進、有効性・安全性の情報提供
- ▼保育所・幼稚園等教職員、保育士、高齢者施設従事者、学校職員への頻回検査、資機材提供をはじめとした環境整備
- ▼福祉施設への人的支援の拡充
- ▼「効果的な換気の徹底」など「基本的な感染防止対策の徹底」のお願いをもとにした県民へのアナウンスの強力な推進と偏見や差別が発生しないような啓発
- ▼保健所体制の更なる強化と、一般医療も含めた医療体制確保
- ▼医療機関、介護施設等の物価高騰対策。



こんにちは

渡辺ゆり子

2022年8月
IV-38

◇発行◇
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子
＜連絡先＞
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

社会保障の拡充を

社保協が要望

党県議団が同席



7月14日山形県社保協が知事要請

山形県社会保障推進協議会(高木紘一会長)は、7月14日県に対し社会保障の拡充を求める要望を行い、日本共産党県議団も同席しました。高木会長が吉村美栄子知事あての要望書を堀井洋幸健康福祉部長に手渡し、その後担当部局に対し参加者が医療・福祉の現場の実態と切実な要望について発言しました。要望内容は、7分野17項目に渡っています。子育て支援では、子ども医療費完全無料化について「県内自治体100%実施に」と要望。福祉・保育の職場からは「仕事にやりがいを感じていても、低賃金、人手不足で労働者はストレスを感じている、仕事をやめたくなる実態の是正を」と切実な声があがりました。また、「生活保護申請の際の扶養照会のあり方が改善されたが、県内自治体キャリアバンでは、徹底されていないことがわかった。申請者が望まない扶養照

会を控える(こと)を自治体に働きかけてほしい」という実情の訴えがありました。医療の分野からは経済的困難を抱え早期受診が遅れがんで亡くなってしまう痛ましい事例の発言がなされました。「軍事費増やすより社会保障

の充実を」という各分野の皆さんの思いがあれたい要望となりました。

国葬反対 新婦人が申し入れ

7月27日、新日本婦人の会山形県本部が、県教育委員会高橋広樹教育長あてに「安倍元首相への弔意表明の強制をおこなわないでください」の要請書を提出し、私も同席しました。要請内容は、▼学校、教職員に対し弔意の表明を強制しないでください▼各市町村教育委

員会に対して同様の通知を發出しないでくださいの二項目です。要請で、新婦人は、「国葬には反対です。山口県では安倍氏の死去に対して弔意の強制が行われているが、そのようなことがないようにしてほしい」と訴えました。

8月豪雨被害調査 高橋ちづ子衆院議員・いわぶち友参院議員とともに



大江町で聞き取りする高橋衆院議員(左)岩淵参院議員(中央)



JR米坂線の鉄橋が崩落した現場(飯豊町)

8月3日から4日にかけて置賜地方を中心に線状降水帯の大雨で甚大な被害が発生しました。日本共産党中央委員会、山形県委員会は、4日、それぞれ災害対策本部を立ち上げました。6日には、高橋ちづ子衆院議員といわぶち友参院議員が、大江町と飯豊町、長井市に被害調査に訪れ、私も今泉春江長井市議と共に同行しました。

大江町では、2年前の水害で被災した旅館のおかみさんが、営業再開したのにコロナ感染の影響で打撃を受け、また今回被災したとして浸水被害の状況を語ってくれました。飯豊町では、高橋弘之副町長が対応し、JR米坂線の鉄橋と大巻橋の崩落した現場などを視察しました。寸断され引きちぎられたような鉄道や道路、そしてどこが河川だったかと思われるよう



1階が浸水した旅館では、水が引いた後、大量の泥で室内が覆われていました(大江町)

に土砂で埋め尽くされ、流木が大量に積み上がったという光景があちこちに見られました。町の要望書を受け取った高橋衆院議員は「激甚災害の指定、J



ゆり子の視点

今年、アジア・太平洋戦争終結から77周年。原爆展や山形市平和都市宣言事業の平和劇場などに毎年できる限り足を運んできました。今年の平和劇場は、農民詩人斎藤林太郎さんの物語で、戦争中であっても、満州で現地の少年と心を通わせて農民としての誇りを共有してきた朗読劇でした。斎藤林太郎さんとは生前に交流があり、なつ

平和への想いをつなぐ

かしく思い出すと同時にもっとたくさん話を聞いておけばよかったとも思いました。戦争体験を直接聞ける機会には、年々少なくなってきましたが、だからこそ平和への思いを次の世代へつないでいくことが大切と感じます。ロシアのウクライナ侵略の機に乗じて、自民党政権と補完勢力が9条改憲や軍事費倍化を声高に発していますが、戦争にさせない、戦争体制を許さない思いを広げ、つなげていきたい。

8月15日、そんな思いで市議団と街頭演説しました。



内谷重治市長(右端)から土砂災害の現場で設営を受ける私(長井市)

R米坂線の早期復旧を求めていく」と答えました。長井市では、内谷重治市長が対応し、土砂災害の現場などを見ることができました。

被害にあった置賜地域や自治体では、田畑など農林関係の被害は調査中で今後明らかになってくると思います。今後の大雨に備えての早急の応急措置を求める声もあり、県内の共産党市町村議と連携して災害復旧に取り組んでいきます。